テクノブリッジフェア in 九州

産業技術総合研究所 九州センター

産業技術総合研究所（産総研）は、産総研九州センター（佐賀県鳥栖市）と鳥栖市民文化会館（同）で2019年12月16日、「テクノブリッジフェアin九州2019」を開いた。日刊工業新聞社西部支社との共催。福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の8県から工業連合会（工連）など業界団体の代表が出席し会員企業など約200人が参加した。同フェアで九州・沖縄8県の代表が一堂に会するのは初めて。安川電機による特別講演会や各団体の代表による取り組み紹介などがあり、人材確保などをテーマにした意見交換会も開いた。

九州・沖縄8県団体代表集結 連携強化へ

SDGs推進を

講演会の冒頭、平井寿敏九州センター所長がフェアの趣旨を説明。国内産業の発展を目指した、産総研の取り組みの周知や理解、団体との連携の重要性を強調した。中鉢良治産総研理事長は開会のあいさつで、産総研や公的研究機関と企業が具体的に連携して国連の持続可能な開発目標（SDGs）に向けた技術開発を推進することを呼びかけた。九州経済産業局の塩田康一前局長もあいさつし、九州センターが広域連携や産学官連携のハブとしての機能を強化し、九州・沖縄における産業力強化の役割を担うことを期待した。

産総研幹部と九州・沖縄8県の団体代表らとの意見交換会

団体代表からは人材確保の現状の説明やとがった技術を持つ中小企業への重点支援など要望が上がった

企業の重点支援を推進

人材確保など活発に意見交換

安川電機執行役員の熊谷彰技術開発本部長による特別講演の後、8県の団体代表がそれぞれの取り組みを紹介した。吉村正佐賀県工業連合会会長（大神社長）は、佐賀県や佐賀大学との連携状況について説明。西亮長崎県工業連合会会長（滲透工業社長）は大手基幹製造業からの自立と、若手人材育成やIoT（モノのインターネット）導入事例などを紹介した。金森秀一熊本県工業連合会会長（オジックテクノロジーズ社長）は、人材育成や施策提言などの取り組みを、自身のラグビーの経験になぞらえて解説した。

問題提起

意見交換会は、各団体代表と産総研幹部らが出席。まず、平井所長から人材確保について問題提起がなされた。代表からは「30―40代の人材がふるさとに戻れるシステムをつくるべきだ。地域資源を活用したベンチャーのサポートも必要」（金森会長）や「父母向けの（企業）見学会や父母への情報発信も大事」（松本茂樹福岡県機械金属工業連合会会長、松本工業社長）などの意見があった。

また古手川保正大分県工業連合会会長（古手川産業社長）は「大分の人工衛星プロジェクト『てんこう』の参加企業には今までにないような学生が集まっている」と報告、古波津昇沖縄県工業連合会会長（拓南製鉄会長）は「沖縄県は地元に戻る人材が多い。子どもの頃から教育されているからでは」と述べた。

そのほか西会長は「とがった技術を持つ地域企業の支援」の必要性について語った。「後継者不足のため黒字でも廃業する企業がある」（岩元正孝鹿児島県工業倶楽部会長、カクイ社長）など地域の課題も披露された。「産総研には中小企業が身近に感じる実例をもっと紹介してほしい」（西会長）など要望もあった。中鉢理事長は「仕事があって衣食住に満ちている生活が、目指すべき持続可能な社会では」などと話し、意見が活発に交わされた。

㊤産総研幹部からは8県の団体代表が集まったことを評価し、産総研の活用や連携を呼びかけた
㊦各地域の団体代表が事例紹介を行った

主催者メッセージ

産業技術総合研究所
理事長
中鉢 良治 氏

産総研九州と8県の連携拡大へ

技術は急速に複雑化、高度化、多様化し、開発スピードが上がる中、もはや一つの組織、一つの企業だけで技術開発を完結することは容易ではありません。

産総研では毎年1700件ほどの共同研究を企業の皆さまと実施していますが、認知度はまだまだ低い状況です。そこで、企業の皆さまに産総研をもっと知っていただくために、研究内容と連携活動を紹介するテクノブリッジフェアを全国で開催しています。

今回のフェアは産総研九州センターが九州・沖縄全8県の連携の輪をさらに広げるために開催させていただきました。8県が一堂に会しての開催は初めてのことで、大変喜んでおります。このあと安川電機様による特別講演のほか、ポスター展示やラボツアーを第一線の研究者がご案内いたします。

企業の皆さまには「産総研と未来を始めませんか！」という問いかけをしています。本日のフェアが、皆さまと産総研の具体連携構築の第一歩につながれば幸いに存じます。

事例紹介では沖縄県への産総研サテライト事務所設立の要請も

佐賀県鳥栖市を拠点とする産総研九州センター

産総研 九州センター

テクノブリッジ「技術の橋渡し」 九州地域の産業・社会への貢献を目指して

九州センターは産総研の九州における拠点として、
半導体、自動車、農林水産・食品といった
地域の基幹産業をはじめ、
これらを支える ものづくり産業 等への
最先端の研究開発と「橋渡し」を推進します。

お問合せ

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター
〒841-0052 佐賀県鳥栖市宿町 807-1
TEL：0942-81-3606　FAX：0942-81-4089　URL：https://www.aist.go.jp/kyushu/index.html

技術を社会へ Integration for Innovation 産総研